

献呈の辞

原田輝彦先生におかれましては、2022年3月31日をもって、関西大学を御定年、御退職されることとなりました。

先生は2007年4月、政策創造学部の創設と同時に、本学教授として御着任されました。以来15年間、学部では教学主任、全学では大学協議会協議員、大学教員組合委員長などの要職を務められ、大学運営に御尽力いただきました。授業では主として地域経済論のほか、アジア各国の法と社会、経済、金融事情を扱う科目を御担当いただきました。前職である日本政策投資銀行時代の御経験を活かされた経済、金融政策の最前線を扱う、まさに臨場感あふれる御講義を、しかも20世紀後半からの激変する国際関係、日本経済の現場、いくなれば資本主義社会の構造的変化に立ちあわれたからこそ、古今東西の人間行動、歴史の本質に迫らんとする内容で展開されました。先生は、経済社会のあるべき秩序を追求されたといえましょう。

先生は何より、学生の主体性、学生間のつながりの重要性を説かれ、ゼミでも実践されてきました。学生が自身の潜在力に気づくことができる教育こそが学生のキャリアデザインに資するとのお考えであり、まさに組織経営の実務、人材開発を担われてきた御経験によるものといえましょう。先生は、経済社会の新秩序創造に主体的に関わるよう、学生を鼓舞されたのです。

学部創業の課題、特に学生の主体的学びを柱とする教育理念の具現化を御先導いただいた先生が今般去られることは誠に残念ではありますが、ひきつづき本学、本学部に御指導、御鞭撻を賜りたく心よりお願い申し上げます。

ここに、『関西大学政策創造研究』第16号を「原田輝彦先生御退職記念号」として刊行し、先生への感謝の意を表しますとともに、先生のさらなる御健勝と御活躍をお祈り申し上げます次第です。

2022年3月

関西大学 政策創造学部長
小 西 秀 樹